



大樹のこころ

大樹寺っ子ガイド

今年に入って、本校に隣接する大樹寺を訪れる観光客が多くなってきました。校舎から大樹寺を眺めると、大きな観光バスが止まっている様子を目にする日もあります。これはもちろん大河ドラマ「どうする家康」効果。ビスタラインの写真を撮影しようと、大樹寺内から本校の総門へ向けてカメラを構える人も大勢います。毎日活気あふれる大樹寺の様子は、まるで京都の観光名所ようです。

その観光客を相手に、本校の6年生が大樹寺や家康公についての説明を行う「大樹寺っ子ガイド」が本日実施されました。6年生によるガイドは本校の伝統的活動でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛をしていました。実に3年ぶりの復活です。ガイド用の黄色の法被を着用し、6年生が大樹寺に出向きます。今日は天候にも恵まれているせいか、いつも以上に観光客が多くいます。さらに六名小学校の4年生が、大樹寺について学びたいということで校外学習に来ており、境内は最高の賑わいです。

6年生のガイドは多岐にわたります。大樹寺敷地内にある「松平八代のお墓」「多宝塔」「位牌堂」「襖絵」「かんぬきの間」「本堂」「しいの木」などの説明をします。また踊りや寸劇などの披露もあるなどバラエティに富んでいます。観光客も「小学生がガイドをする」ということが珍しいらしく、大勢の方が足を止め耳を傾けてくれました。

六名小学校の引率で来ていた先生も「大樹寺小の子供たちのガイドが素晴らしいですね。おかげで、本校の子供たちが素通りしてしまいそうなところでも、しっかりと学習することができました」と言ってくださいました。最高の褒め言葉です。

この大樹寺っ子ガイドはマスコミの目にも留まり、ミクス・FM おかざき・中日新聞・東海愛知新聞など多くの取材がありました。そんな中で嬉しい「ハプニング」が。現在放映中の「どうする家康」に榊原康政役で出演中の杉野遥亮さんが、お忍びで大樹寺を訪れてみえました。事前情報もなく、本人を前にして子供も教師もびっくりです。杉野さんは大変気さくな方で、子供たちの「ガイド」も聞いてくださいました。子供たちにとって、貴重な体験・思い出となりました。

6年間の家康学習の集大成となる「大樹寺っ子ガイド」。大成功を収めることができました。ガイドを聞いてくださった観光客の皆さん、六名小学校の4年生の皆さん、そして杉野遥亮さん、ありがとうございました。

